

Newsletter: 日本音韻論学会 (PHSJ)

第14巻第2号(通巻40号)

2010年7月24日

2010年度春期研究発表会報告

去る6月18日(金)、首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパスにおいて、2010年度春期研究発表会が開催されました。博士学位取得者講演1件、一般研究発表が4件あり、参加者は49名でした。各講演と発表に対して、いつものように活発な質疑応答がなされました。

研究発表会終了後、会員総会と懇親会が開催されました。懇親会は37名の参加者があり、たいへん盛況でした。

会場を提供してくださり、研究会と総会・懇親会の準備にご尽力下さいました本間猛先生、および、首都大学東京の関係者の皆様に、改めてお礼申し上げます。

第14回会員総会報告

6月18日の春期研究発表会終了後、第14回会員総会が開催されました。会員総会での報告事項と審議事項は以下の通りです。

記

- 2009年度活動報告：次の5点が報告された。
 - ・春期研究発表会の開催(2009年6月19日、大東文化大学大東文化会館)
 - ・音韻論フォーラム2009の開催(2009年8月24日-25日、神戸大学)
 - ・International Phonetics and Phonology Forum 2009の共催(2009年8月26日-27日、神戸大学)。
 - ・韓国音韻論・形態論学会との交流、音韻論フォーラム2009でHyunsoon Kim氏、Sung-A Kim氏が講演。また、Seoul International Conference on Linguistics 2009(2009年6月23日-25日開催)に、栗栖和孝氏、白石英才氏を派遣。
 - ・『音韻研究』第13号の編集。
- 2009年度会計報告:報告のとおり承認された。
- 2009年度会計監査報告:報告のとおり承認された(2,3の詳細は、同封の別紙を参照下さい)。
- 『音韻研究』第13号編集報告。
- 2010年度活動計画:次の5点が承認された。
 - ・2010年度春期研究発表会の開催(2010年6月18日、首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス)
 - ・韓国音韻論・形態論学会との交流
 - ・音韻論フォーラム2010の開催(2010年8月23日-25日、静岡県立大学)。
 - ・INTERSPEECH 2010(2010年9月26日-30日、幕張メッセ)および、INTERSPEECH 2010 サテライトワークショップ(2010年9月22日-24日、早稲田大学)の後援。
 - ・『音韻研究』第14号の発行。

以上。

『音韻研究』第14号論文募集

『音韻研究』では、春期研究発表会・音韻論フォーラムでの発表原稿の他に、一般の投稿論文も募集しております。いずれの категорияも投稿者の名前を伏せて審査され、掲載の採否が決定されます。会員の皆様の積極的な投稿をお願いいたします。投稿方法は以下のとおりです。

記

- ・投稿方法：原則としてPDFファイルをEメールにて送信(PDFファイルが作成不可能な場合は、Wordファイルにて送信。電子媒体にて投稿不可能な場合には郵送)。PDFファイルで投稿できない場合には、事前に下記の担当理事(原田)にご連絡ください。
- ・投稿部数：ファイルで投稿する場合には、2通添付する。そのうち1通は、氏名・所属・謝辞の情報が明記されていないファイルとし、もう1通は、それらの情報を含めたファイルとする(ただし、謝辞の有無については自由とする)。郵送の場合は、コピー3部(氏名・所属・謝辞を明記していないコピー2部と、それらの情報を含めたコピー1部)を送付する。
- ・分量：8頁を原則とする。
- ・投稿先：原田龍二(編集担当：大妻女子大学)
e-mail: harada@otsuma.ac.jp
郵送の場合：〒206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1 大妻女子大学社会情報学部
- ・締切：2010年10月31日(日)必着
- ・書式の詳細については、『音韻研究』12号あるいは13号巻末の執筆要領をご覧ください。
- ・投稿全般に関する問い合わせは、担当理事までお願いいたします。

書式を守っていない、あるいは期限内に間に合わない応募原稿は無効となりますので、くれぐれもご注意下さい。

音韻論フォーラム2010開催

来る8月23日(月)~25日(水)に、音韻論フォーラム2010が静岡県立大学(静岡市駿河区)にて開催されます。

海外からの4名(Catherine Ringen, Peter Howell, Yongsoon Kang, Chang-Kook Suhの各氏)による招待講演と、博士学位取得者講演4件、一般研究発表9件と、大変充実したプログラムになっております。参加費を以下の通り設定しています。

参加費：一般会員・維持会員1,000円、
学生会員500円、非会員2,000円

アクセス等の詳細につきましては、同封しました別紙のプログラム、ならびに、日本音韻論学会のホームページをご覧ください。

学会ホームページ：
<http://sils.shoin.ac.jp/PhonWeb/gakkai.html>

宿泊ホテルの案内も同封しています（学会ホームページにも掲載されています）ので、お早めにご予約下さい。

旅費の補助について

学会では、若手研究者への支援を目的として、フォーラムや研究発表会の遠隔地からの発表者で、かつ、非有職者（学生や非常勤講師等）を対象に旅費の補助を行います（一人上限2万円）。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は奮って研究発表会ならびにフォーラムの発表に応募して下さい。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入できます。また、本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』（1996）についても、特別価格で購入できます。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。

詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係
〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-2 水上ビル 4F
電話：03-5842-8900 FAX：03-5842-5560
<http://www.kaitakusha.co.jp>

『音韻研究』定期購読のお願い

学会からの配布のほかに、勤務校の研究室・図書館などに、もう1冊、研究費等による『音韻研究』の定期購読をお願いいたします。

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入して下さい。印字された数字のうち9,0は、それぞれ2009、2010の各年度の会費が未納であることを意味します。*は、会費納入済みであることを意味します。*は、会費納入済みであることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば、5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*0[5t]」と

印字されていれば、2010年度の会費が未納で、その総額が5,000円であることを意味します。

また、年度にかかわらず、未納分の会費が納入され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付しております。

会費納入には、次の二つの方法があります。

1. 郵便振込：同封の振込用紙を使い振込
口座番号：00180-6-402077
加入者名：日本音韻論学会（別途領収書を希望される方は、会計・桑本までご連絡下さい）
2. 研究発表会、フォーラムの会場で会計・桑本に直接手渡す。領収書を発行します。

年会費：

維持会員：10,000円、
一般会員：5,000円、学生会員：4,000円
「維持会員」は本会を格別支援して下さる会員です。年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

住所等変更通知と確認のお願い

会員情報（住所、所属、連絡先）が変更になった場合は、必ず事務局会計・桑本にご連絡ください（学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も必ずご連絡下さい。また、Eメールも常時使用のものをお知らせ下さい）。連絡されないままにされますと、Newsletterや『音韻研究』などの配布物が正しく配送されませんので、くれぐれもご注意お願いいたします。

日本音韻論学会事務局

【事務局長】田中真一（神戸女学院大学）
〒662-8505 西宮市岡田山 4-1
神戸女学院大学 文学部 総合文化学科
TEL：0798-51-8635
E-mail：tanaka@mail.kobe-c.ac.jp

【局長補佐・書記】山本武史（広島女学院大学）
〒732-0063 広島市東区牛田東 4-13-1
広島女学院大学 文学部 英米言語文化学科
TEL：082-228-0386
E-mail：t-yama@gaines.hju.ac.jp

【会計】桑本裕二（秋田工業高等専門学校）
〒011-8511 秋田市飯島文京町 1-1
秋田工業高等専門学校 人文科学系
TEL・Fax：018-847-6083
E-mail：kuwamoto@akita-nct.jp